12月は地球温暖化防止月間です

平成9年12月、地球温暖化問題に世界の国々が協力して取り組むため、地球温暖化防止に関する国際会議が京都で開催されました。

これを契機に、平成10年から毎年12月が「地球温暖化防止月間」と定められました。

今回は、市の地球温暖化対策や家庭でできる取り組みを紹介します。この機会に、地球温暖化防止について考えてみませんか。

※問い合わせ　環境総務課（☎998－9133）

地球温暖化

地球の温暖化が進行しています

近年、地球温暖化やオゾン層の破壊、酸性雨等、地球規模のさまざまな環境問題が世界共通の課題として提起されています。

特に、地球温暖化は、異常気象等の異変を引き起こし、人類をはじめすべての生物の生活に甚大な影響をもたらすことが予想される最も深刻な問題です。

そして、全世界の協力の下、地球温暖化防止に向けた取り組みを実施していくことが強く求められています。

地球温暖化を引き起こしている温室効果ガスの大半は、人類の活動に伴って消費されるエネルギーを作り出すための石油や石炭等の化石燃料の燃焼により排出される二酸化炭素だと考えられています。

このことから、エネルギー消費の抑制、すなわち省エネルギーへの取り組みが地球温暖化防止に最も大きな効果を期待できる手段といえます。

市は地球温暖化対策に取り組んでいます

■平成13年度は3・5％の削減ができました

市では、平成13年3月に「所沢市地球温暖化対策実行計画」を策定し、平成11年度を基準として温室効果ガスを2％削減することを目標に地球温暖化対策に取り組んでいます。

平成13年度については、全職員がこまめな消灯や冷暖房の使用自粛等の省エネルギー活動に率先して取り組んだ結果、基準年度と同規模にある施設について表1のとおり3・5％の削減ができました。

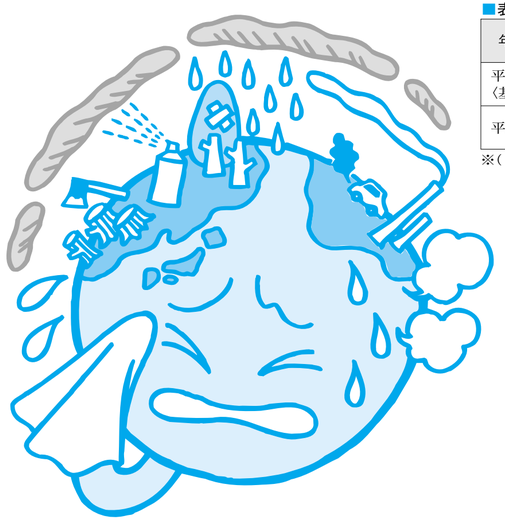
この削減量を灯油の使用量に置き換えた場合、約30万ℓ（ドラム缶1、500本）を節約できたことになります。

一方、平成13年度の総排出量（表1のカッコ内の数字）を見ると、全体では4・4％の増加となっています。しかし、これは公害対策設備を充実させる等の施設改修工事を実施した西部清掃事業所等、基準年度以降に規模や稼動内容が拡大した施設からの排出量が増加したためです。

■表1…温室効果ガス排出量

年　度	温室効果ガス総排出量（kg-CO_2）	増減割合（％）
平成11年度〈基準年度〉	21,998,787（25,749,244）	
平成13年度	21,235,626（26,875,795）	△3.5（＋4.4）

※（　）内は、規模が変わった施設を含む排出量



市長インタビュー

環境は世代を越えた共有財産です

●地球温暖化問題についてどうお考えですか。

斎藤市長　地球環境問題の中で最も深刻な問題だと思います。私たちが大量生産・大量消費という生活を続ける中で引き起こされたもので、この問題を解決していくためには「環境は世代を越えた共有財産である」という共通認識を持ち、私たち一人ひとりが省エネに取り組み、二酸化炭素を削減していかなければならないと考えています。

●市ではどのような対策をお考えですか。

市　長　「環境問題は地域から」といわれているとおり、地域に密着した私たち自治体が担う役割は、今後ますます大きなものになってきます。

このため市では、「所沢市地球温暖化対策実行計画」を策定し、職員が率先して二酸化炭素の削減に取り組んでおり、計画初年度の平成13年度には、公共施設において大きな成果をあげています。

また、本年度から2か年をかけて「所沢市エネルギービジョン」を策定します。これは、今後市域全体の省エネを進めていくために、市民・事業者・行政それぞれの特徴に合わせた省エネ計画を提示し、新エネルギー利用も視野に入れた包括的なエネルギー計画を目指すものです。

策定にあたり、市民・事業者の皆さんのご協力により、エネルギーの利用状況をきめ細かく調査することができましたので、今後は、調査を基に省エネを進める際の課題を整理し、具体的な地球温暖化対策を進めていきます。

これからも、「人と地球を愛するまちづくり」を目指し、全力をあげて取り組んでまいりますので、皆さんの一層のご理解・ご協力をお願いいたします。

ストップ！

【エネルギービジョン策定の主な流れ】

平成14年度：ビジョン策定の基本方針 ⇦ エネルギー使用状況の把握 ⇦ エネルギー使用量の算定 ⇦ 重点施策の抽出
平成15年度：重点施策の検討 ⇦ 省エネルギー行動計画の検討 ⇦ 省エネルギービジョンの策定

初期段階調査　ビジョン策定調査

所沢市エネルギービジョン策定事業のお知らせ

■エネルギービジョン策定の趣旨

地球温暖化の原因となっている二酸化炭素を削減していくためには、大きな発生原因である各種エネルギーの使い方を見直し、無駄なエネルギーを省いていくことが必要です。

また、地域レベルでの省エネルギー活動を持続的に進めていくためには、市民・事業者・行政が協力し、実効性のある計画に取り組むことも必要です。

市では、今年度から2年をかけて「所沢市エネルギービジョン」を策定し、省エネルギーや地球温暖化防止に取り組んでいきます。

今年度は、所沢市において、どの部分でどのくらいエネルギーが利用されているかを把握し、省エネルギーを進める際の課題や重点項目を整理します。

来年度は、地域の特性を活かした具体的な省エネルギー計画を策定していきます。

【エネルギー使用状況調査】

今年度、市民の方と市内の事業者を対象に、エネルギー使用状況調査を行いました。

①家庭における調査

時　期　平成14年8月

対　象　市環境推進員と無作為に抽出した600世帯

配布数　1、655世帯

回収数（率）　901世帯（54・4％）

調査項目　住宅の形態・場所等、家族構成等、暖房と冷房の使用状況、給湯・衛生の状況、調理（回数・時間・使用機器等）、家電製品の利用状況、外での行動と車の利用状況、エネルギー使用量（電気・ガス等）

②事業所における調査

時　期　平成14年9月

対　象　無作為に抽出した920事業所と第一種・第二種エネルギー管理指定工場の12事業所

配布数　▼事業所…920▼指定工場…12

回収数（率）　▼事業所…253（27・5％）▼指定工場…10（83・3％）

調査項目　事業形態等、冷暖房や照明の状況、リサイクル・グリーン購入等、自動車の利用、エネルギーの管理・省エネの推進、エネルギー使用量（電気・ガス等）

調査にご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

なお、調査結果の概要等につきましては、後日広報でお知らせします。

＊　＊　＊

今後は、同時期に行った公共施設に対するアンケート調査と併せて分析を進め、個人や事業所、地域のエネルギー消費特性を把握し、省エネルギー計画の策定に反映させていきます。

家庭の省エネからはじめましょう

国の調査では、平成12年度における家庭からの二酸化炭素（CO_2）排出量は、10年前に比べ20.4％増加しています。これは、わが国全体の排出量の13.5％を占めています。

これまでの生活を見直し、家庭の省エネからはじめてみましょう。

なお、下記の取り組みを実践することで、家庭からの二酸化炭素の発生を10.5％削減できます。

取り組みの例	一世帯当りのCO_2削減効果 / 一世帯当りの年間排出量に対するCO_2削減割合	一口メモ
冷房の温度を1℃高く、暖房の温度を1℃低く設定する	31kg／年 / 0.50％	カーテン等で太陽光の入射を調整したり、着る物を工夫したりしてみませんか。
週2日、往復8㎞の車の運転を控える	185kg／年 / 3.10％	通勤や買い物の際にバスや電車、自転車を利用してみませんか。
待機電力を90％削減する	87kg／年 / 1.50％	主電源をこまめに切りましょう。また、長時間使わないときはコンセントを抜きましょう。
家族全員がシャワーの使用を1日1分減らす	65kg／年 / 1.10％	体を洗っている間、お湯を流しっ放しにしないようにしましょう。
家族が同じ部屋で団らんし、暖房と冷房の使用を2割減らす	240kg／年 / 4.10％	家族が別々の部屋で過ごすと、暖房も照明も余計に必要になります。
テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす	13kg／年 / 0.20％	テレビは見たい番組だけを見るようにしましょう。
合　計	621kg／年 / 10.50％	資料：環境省

大人が見本になって行動を！

衣川　悦人さん（北秋津在住）

私は、家を新しく建てるときに、屋根材一体型の太陽光発電システムを取り付けました。これは、自然のエネルギーを活用して、少しでも省エネになればと思ったからです。電気製品等も省エネタイプのものを取り付けるように頼みました。

また、長く使えるものを選んで購入・使用することは、環境に対してよいのではないかとも思っています。

これからは、大人が見本となって行動することで、子どもが環境問題に関心を持つことを願っています。

もっと省エネの情報提供を！

稲葉　祐子さん（緑町在住）

私の周りの皆さんも省エネについて関心がありますね。私自身も毎日の生活の中で意識して考えていますが、いざ実践するのは難しいです。

冷暖房の温度を気にしたり、電気をこまめに消したりして、極力無駄をしないことは経済的にも節約でき、省エネにつながると思います。

頭ではわかっているのですが、何をしたらよいのかをもっと教えてほしいと思います。無理なく自然にできる省エネの方法やアイデア等の情報をたくさん提供してほしいです。

２００３年版 エコカレンダーを配布します

エコカレンダーは、毎月のエネルギー使用量やごみの排出量を記入することで、二酸化炭素の排出量がわかるようになっています。

皆さんも家庭の省エネにチャレンジしてください。

2003年版エコカレンダーは、下記展示会で配布します。また、市役所5階・環境総務課の窓口でも配布しています。

◎2002年版エコカレンダーを使い、省エネにチャレンジしている方は、環境総務課に結果をお知らせください。

――環境展示会を開催します――

身近なところから暮らしを見直してみませんか。

と　き　12月9日㈪～13日㈮

ところ　市役所1階・市民ホール

内　容　地球温暖化防止パネルの展示、大気測定機器の展示、エコカレンダーの配布、啓発冊子の配布等

◎期間中、会場においてアンケートを行います。ご協力いただいた方には環境グッズを差し上げます。

問い合わせ　環境総務課（☎998-9133）